

平成 25 年

三島公民館だより

1月

No.109

祝 成人



タイムカプセルオープン

一月三日、鬼北町での成人式終了後、平成十六年度に三島小学校を卒業した戸祇の子学級生十八名中、十二名が三島公民館に集合し、卒業時にタイムカプセルに思い出の品をそれぞれに入れて二十歳になったときに開封しようと、この日を待ちわびていたようで自分の入れた品物に当時を思い出し懐かしい様子でした。

また、ワインを入れていた子がいて、八年越しのワインを皆がたしなんでいました。
大人の仲間入りおめでとう!!

本に親しもう

— 公民館図書室の充実 —

三島公民館長 芝 嘉也

皆さんあけましておめでとうございます。
す。

今年^みは巳年^{みずのとみ}（癸巳）・へび年です。十二支の子年^ねから辰年^{たつ}までは成長の段階、巳年からは発展の段階へと進むといわれています。また、蛇は脱皮するところから再生を象徴しており、新しい自分に生まれ変わる人生の転機とすべき年でもあります。

成長・発展するためには、人間は不断に自分を磨いていく必要があります。その方法として昔から「事上練磨」「人上練磨」「書上練磨」ということが言われています。

公民館に関係して言うなら、さまざまな行事を通して（事上）人と人が結び合いながら（人上）お互いが向上していくということになろうかと思えます。

最後の「書上練磨」は、文字通り読書によって人間は向上・成長するということです。平成二十四年度から公民館の図書購入費が大幅に増額（従来の十倍増）され、新刊の購入など徐々に充実してきています。活字離れが言われて久しい昨今、是非公民館図書室に足を運んで、本に親しんでいただけたらと思います。

最後に、今年一年が皆様にとってよい年でありますよう心からお祈りいたします。

戸祇の子学級

ゆず料理教室

三島小学校では、県の指定を受けてゆずに関する環境教育を実施しています。その一環として戸祇の子学級においても、十二月六日(木)にゆず料理教室を行いました。

講師は芝賀子さん(下大野)に来ていただきました。今回のメニューのゆずジャム入蒸しパン・ゆねり・ゆず味噌おでんについて丁寧の説明があった後、家庭科室に入りさっそく調理開始です。各班に分かれてレシピを見ながら、また分からないところは講師に尋ねたりとゆずを使った料理について色々と勉強しました。児童の中には、「家に帰って作ってみたい」という子もいるほどおいしくできたようでした。



戸祇の子学級

注連飾り作り教室

今年も恒例の注連飾り作り教室を十二月二十六日(水)に老人クラブ役員の方々の指導により行いました。

三年生は初めての注連飾り作りで、一番最初にわらを竹に結ぶとつくり結びに悪戦苦闘、老人クラブの方々には手ほどきを受けながら、なんとかそれぞれの形に完成。上級生は作成した経験があるため手早く上手に作っていました。

自分たちが作った注連飾りを玄関に飾り、良い正月をご家族で迎えられたのではないのでしょうか。



とつくり結びの仕方を習う児童

男の料理教室

老人クラブ三島支部

老人クラブ三島支部（支部長 中山寿雪）主催の「男の料理教室」が、十二月十二日に三島公民館調理室で行われました。

今回の講師は、重宮博さん（小松・通称、吟ちゃん）に来ていただき、鶏肉の炊き込みご飯・野菜炒め・ぶりの刺身に挑戦していました。

皆さんさすが年の功？野菜を切るのは大小あれどうまいもの、ぶりを切る時は、善家瞳さん（下大野）に包丁の扱い方を指導してもらい刺身作りにも挑戦していました。

料理が出来上がってさっそく慰労会。作る時も、食べるときも、片付けも皆さん和気あいあい。今度はご家庭で腕を振るってください。



新刊紹介


- ・解決する力
- ・SOS の猿
- ・真夜中のパン屋さん
- ・永遠の0
- ・選ぶ力
- ・そなえ 35 歳までに学んでおくべきこと
- ・残り全部バケーション
- ・64
- ・未来の法
- ・拉致と決断
- ・謎解きはディナーのあとで
- ・夢をかなえるゾウ
- ・海賊とよばれた男 上下
- ・僕の死に方
- ・スタンフォードの自分を変える教室

これ以外にも今年度の売れ筋を図書室に入れていただきますのでご利用ください。

行事予定

— 2月 —


4日(月) 戸祇の子学級
田舎饅頭作り
お茶作法教室
13:30~

11日(月) 建国記念の日 

16日(土) 音楽とダンスの集
い 18:00~
日吉住民センター

26日(火) 戸祇の子学級
閉講式

— 3月 —

20日(水) 春分の日 

22日(金) 自治会・町有林監査

- (未) 公民館運営審議会
- (未) 体育協会役員会・総会
- (未) 交安協役員会・総会

祝・祭日には  国旗を立てましょう。

発行者

鬼北町小松 1523
三島公民館
電話：48-0111
FAX：48-0303

公民館だよりは、下記のアドレスにアクセスすれば、カーラでご覧になれます。

鬼北町ホームページ
アドレス <http://www.town.kihoku.ehime.jp/>

リレーエッセイ

我が愛しの三島

No.46

中央公民館図書室に勤務しておられる大川さんに執筆していただきました。



大川 祥次さん
(広見)

高校入学で下宿をしましたので、三島に住んだのは中学三年卒業までの十五年間。以来三十六年間埼玉に住まいし、平成二十二年五月に広見へ帰ってきました。曲がりなりにも教師として中学生を指導できたのは、三島の人たちや山河が私の考

え方や行動の基本理念を育ててくれたお陰と、正直ずっと思っています。ですから退職後は帰郷すると、若いころから決めていました。妻は、もう少し仕事を続けたい、そして息子が就職したばかりで一人暮らしは心許ない、との二つの理由から埼玉で暮らしています。帰郷して一番落胆したことは、豊かだった山河が荒れていることです。自由気ままに足を踏み入れられた山や川原が、何かが出てくるのでは、と怖くて入り込めない状態です。緑や清流を売りにしている鬼北町、住民が本気で現状の山や川をすばらしいと思っているのなら、悲しい錯覚です。そのことに気付かないのか、それとも気付いて手を打てないでいるのか。人口の減少という理由以上に、鬼北町という地域が衰退しているように思えます。



体育館への進入路の工事が始まりました。駐車スペースが設けられる予定で、体育館の利用がいつそう便利になることと思います。

香典返しのお礼

次の方から三島公民館、三島自治会に金一封をいただきました。心より厚くお礼申し上げます。
十二月 十一日 松浦 重喜さん(延川)
一月 十日 葛川多美代さん(川上)